

まちレポ

Town Topics

まちのできごとレポート

1 / いつ何時の事故のために

31 スキー場で救助訓練が行われました

1月31日（金）高穂スキー場で深川地区消防組合沼田支署が主体となり、高穂スキー場従業員及びスキー学校指導員による合同救急救助訓練が行われました。

訓練はスキー場内で傷病者が出た想定で行われ緊張感がある中、参加者は声掛けをし協力しながら手際よく救助訓練を行い、毎年実施している救命講習の成果が今回の訓練にも活かされていました。



2 / 大切にに使わせていただきます

7 JA北いぶき女性部沼田支部からタオルの寄贈

2月7日（金）JA北いぶき女性部沼田支部（岡田久恵支部長）役員が町長室を訪れ、町にタオルの寄贈をしていただきました。

タオルは毎年寄贈いただいているもので、受け取った横山町長は「今年もありがとうございます。大切にに使わせていただきます」とお礼を述べました。

タオルは和風園や旭寿園等の施設で使わせていただきます。



2 / 快晴の下、全力で挑みました

8 第71回町民スキー大会

2月8日（土）高穂スキー場で第71回町民スキー大会（沼田町体育協会主催）が開催されました。

大会では大回転競技や8の字滑走競技が行われ、参加した選手は日頃の成果を発揮していました。

また、大人スキー・スノーボード無料レッスン体験や歩くスキー等のイベントがあり、参加者たちは様々な形でウィンタースポーツを楽しみました。



2 / 少雪で心配される中、無事に開催！ 8・9 輝け雪のまちフェスタ2020

2月8日（土）・9日（日）に高穂スキー場で輝け雪のまちフェスタ2020（同実行委員会主催）が開催され、町内外から多くの方々が来場しました。

天候にも恵まれた今イベントでは雪中運動会が行われ、玉入れや大玉転がしなどチーム一丸となって優勝を目指しました。

会場では、陸上自衛隊沼田分屯地の隊員が製作したお城の大雪像、雪んこ焼きや飲み物等が販売された屋台、スノーモービル・大型滑り台等の子どもから大人まで楽しめるアトラクションや利雪ブースでの雪遊びに来場者は楽しい時間を過ごし、イベントの最後には大抽選会が行われました。



2 / みんなでおいしく食べました 19 ぴよぴよクラブでクレープ作り

2月19日（水）子育て交流広場「えがお」で、子どもの発達や子育てに関する活動を週1回行っているぴよぴよクラブ（子育て支援センター主催）で、クレープ作りを行い親子約30名が参加しました。

子どもたちは保護者やボランティアの方と一緒に生地をかき混ぜ、焼きあがったクレープに好きな果物や生クリームでトッピングし、みんなで美味しく食べました。

また保護者やボランティアの方たちは、子育てに関する意見交換などをし、楽しいひと時を過ごしました。



2 / 今後の健康社会のために 20 ICT 機器健康モニター報告会開催

2月20日（木）暮らしの安心センターで、地域づくりの課題に取り組む（一社）北海道総合研究調査会が主催するICT機器健康モニター報告会が開催されました。

この実証実験は昨年10月から本年1月までの3カ月間行われ、食事や睡眠、日々の生活の行動についてのデータを配布されたスマートフォンで送信し、そのデータをもとに健康状態を数値化するというもので、実験を担当した奈良県立医科大学 MBT 研究所の梅田智広先生は「集計したデータは今後の新しい健康管理サービスのために使わせていただきます」と話されていました。この実証実験は世界で初めて沼田町で行われたもので、参加者は「3カ月間、毎日の報告が大変だったが、役に立ててよかった」と話されていました。



2 / 20 雪と共生し、雪を活用する 沼田小学校3年生が雪利用について学びました

2月20日（木）沼田小学校3年生10名が「総合的な学習～沼田学」の時間に町が取り組んでいる雪利用について学習しました。

児童たちはまず「雪の科学館」内の雪室を見学し、米や野菜、日本酒の雪なごり等を貯蔵している様子や雪室を冷やしている雪が昨シーズンのものであることに驚き、「外よりも寒い」「なんでそんなに雪が残っているのか」等、興味津々に話を聞いていました。



また、ゆめつくるにある冷房機器が雪解け水を利用した雪冷房である等、沼田町がどのように雪と共生し、活用しているのかを実際に目で見て体験しました。

2 / 21 楽しい夜になりました ほたる館で地酒まつり

全国各地の地酒等が楽しめる地酒まつりが2月21日（金）ほろしん温泉ほたる館で開催されました。

会場には日本酒を中心に焼酎や果実酒等56種類が取り揃えられ、約200名の参加者がテーブルに並んだ料理と一緒に、自分好みの日本酒を選びながら楽しみました。

じゃんけん大会等のイベントも行われ、参加した方々は終始和やかにイベントを楽しみました。



2 / 22 防災意識を高めるために 沼田町防災研修を開催

全国で災害対策に対する意識が高まる中、2月22日（土）ふれあいで沼田町防災研修が行われました。

今回の研修では災害発生時の避難所のあり方について日本防災士機構の理事・事務総長の橋本茂氏が「避難所での行政と町民の役割」について講演され、町民による避難所運営委員会の重要性を話されました。その後、参加した約70名がグループに分かれ、沼田小学校に避難した場合についての対応についてワークショップを行い、参加者は意見を出し合いました。



2/23 「食」でまちに賑わいを第2弾! ぬまたのごはんやさん

1月に開かれた「1日限定ホットサンド屋さん」に引き続き、2月23日（日）まちなかほっとタウンで、第2弾イベント「ぬまたのごはんやさん」（地域おこし協力隊主催）が1日限定で開かれました。

町内で日曜日に営業している飲食店が少ないことから、町民の交流や外食の機会を生むきっかけづくりや、本町を訪れる方が食事のできる場所を作る目的で開催され、今回はJA北いぶき女性部沼田支部監修のもと、沼田町のおいしいお米を堪能できるようなごはんのお供がセットになった「ごはん定食（ご飯食べ放題）」が500円で提供され、多くの方々が来場されました。



2/25 今後の農業を考える 3町地域農業者合同研修会を開催

スマート農業等についての知識を養う、地域農業者合同研修会（3町営農改善推進協議会主催）が2月25日（火）ふれあいで行われ約70名が参加しました。

ホクレン農業協同組合連合会スマート農業推進課の村木雅人主任考査役がスマート農業について講演し、「農業の自動化・ロボット化で作業を省力化し、集積データを活用して生産性を上げることで農業が抱える問題を解決していける」と事例やスマート農業を活用した方たちの声を紹介し、その後、令和元年産水稻の総括と今後の対応についての話があり、参加者は興味深く聞き入っていました。



2/25 レザークラフトに挑戦 おとなの工作教室で革製キーホルダー作り

2月25日（火）ゆめっくるでレザークラフト教室が開催されました。

レザークラフト教室は、年に一度開かれるおとなの工作教室で初めて行われたもので、今回は革製のキーホルダーを作製しました。初めてレザークラフトに触れる人が多く、革に穴を開けたり、糸を縫ったり、ボタンをつける等、どれ一つをとっても大変な作業でしたが、参加者からは「大変だったけれど完成できてうれしい」と初めてのレザークラフトを楽しんでいました。



3 / 仲間との思い出を胸に

12 沼田学園沼田中学校第52回卒業証書授与式

3月12日（木）沼田中学校（米倉卓司校長）で52回目となる卒業証書授与式が、新型コロナウイルスの感染予防対策により縮小して執り行われました。

米倉校長から「一人一人の良さを活かしながら、自分らしく堂々と歩んでください」と式辞の言葉が贈られ、卒業生28名は中学校生活の思い出と今後の決意を胸に新たな一步を踏み出しました。

また、本年から町より卒業記念として藍染の夜高あんどん半纏と木札が贈られました。



3 / 元気いっぱい小学生になります

14 認定こども園卒園式

3月14日（土）沼田認定こども園（土肥芳子園長）で卒園式が執り行われ15名が卒園しました。

卒園児は土肥園長から卒園証書を手渡され、ステージ上で一人ずつ将来の夢を発表しました。

新型コロナウイルスの感染予防対策のため内容を縮小して開催されましたが、保護者が見守る中、暖かい雰囲気の中でこども園を巣立っていきました。



3 / これまでの学びを活かして中学生へ

19 沼田学園沼田小学校第110回卒業証書授与式

3月19日（木）沼田小学校（疋田博和校長）で110回目となる卒業証書授与式が、新型コロナウイルスの感染予防対策により縮小して執り行われました。

疋田校長から卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡され、卒業生19名は「今まで大切に育ててくれてありがとう」「小学校で学んだことを忘れずに頑張りたい」など感謝の言葉や決意を力強く述べ、学び舎を巣立っていきました。

